

能登半島地震への募金活動を行いました

2月1日（木）、2日（金）の二日間、生徒会が中心になって能登半島地震被災地への義援金を募る募金活動を行いました。

この二日間、各クラスでは文化委員を中心に募金活動を行い、授業後は生徒会役員が職員室周辺で募金箱を手に生徒や先生方に協力を呼び掛けました。

今回の募金活動は、生徒と教員の両方から「能登半島地震の被災地の人たちに対して、自分たちも何かできないか」という声上がり、それを生徒会で話し合い、募金活動として実施しました。その結果、二日間で **56,908 円**



の義援金が集まり、能登半島地震災害義援金として愛知県共同募金会豊川市共同募金委員会の担当の方に直接手渡すことができました。

生徒会長の桑山琴音さん（2年）は、今回の募金活動を振り返って、「震災から一ヶ月以上が過ぎました。今でも毎日のニュースで被災地の現状が伝えられています。そんな中、私たち小坂井高校でも被災地の方々の手助けになるようにと、今回の募金を行いました。募金を通して世界中に広がっている支援の輪に加わることができた喜びと、生徒のみなさんや先生方の温かさ、そして助け合うことの尊さを実感しました。被災地の日でも早い復興をお祈りしています。」と感想を述べました。